

NO	内容
	座席予約システムの導入範囲
1	<p>利用者自ら、座席・インターネット利用席・貸出用タブレット・会議室を予約・利用・終了することが可能なセルフ座席</p> <p>予約システムを導入すること。座席管理を行う範囲は以下の通り。</p> <p><座席></p> <p>【新御殿場市立図書館図書館】</p> <p>①学習室_30席</p> <p>②AVブース</p> <p>・一般開架_2席</p> <p>・児童開架_2席</p> <p>③電子新聞システム_2席</p> <p>④インターネット利用席_2席 ※PC・サーバ自動連動</p> <p>⑤会議室・グループ会議室</p> <p>・グループ学習室_2室</p> <p>・会議室_3室 ※2室を1室、3室1室予約も可能。</p> <p>⑥貸出用タブレット_5台 ※タブレット・サーバ自動連動しない</p>
2	<p>利用者の利便性を高めるために、以下対応が可能なシステムであること。</p> <p>・来館された利用者は、予約端末から各コーナーの空席状況表示と当日分の座席予約・削除が可能なこと。</p> <p>・利用者が図書館外のPC・スマートフォン等からインターネット経由で図書館ホームページに接続し、図書館内各コーナーの現時点の空席状況を確認及び当日・未来日の座席予約も可能なこと。</p>
3	<p>利用者が自ら座席予約する予約端末と、職員がマスタメンテナンスやイレギュラー対応する管理端末も用意すること。</p>
	前提条件・共通
4	<p>利用カード（バーコード）・パスワードを使用した座席予約ができること。その際、図書館システムに利用者登録されている者を識別する機能を有し、更に利用カードの有効/無効を確認し、無効の場合は警告画面を表示して利用できない制御を行うこと。そのため、図書館システム連携インターフェースが用意されており、図書館システムと接続実績のあるシステムであること。</p>
5	<p>又、図書館システムと連携することにより、年齢、利用区分等で各ブース毎の条件設定に合わない場合は、そのブースのみ利用できない制御を行うことが出来ること。制限する内容については、別途打ち合わせの上決定する。</p>
6	<p>利用者が平等に利用出来るよう、当日の予約は1つまでとすること。ただし、未来日にWeb予約がある場合でも当日に来館した場合は、予約端末から1つまで予約ができること。</p>
7	<p>⑥コーナー（貸出用タブレット端末）に関しては、セルフ予約を取得後、他コーナーでもタブレット端末が利用出来るように重複予約が可能なコーナーとすること。</p>
8	<p>利用者が自ら座席予約する予約端末と、職員がマスタメンテナンスやイレギュラー対応する管理端末も用意すること。</p>
9	<p>各コーナー毎に同一利用者の同日内の最大利用回数・時間を制限することができること。制限を超えた利用は、利用認証の際に判断し利用できない制御を行うこと。</p>
10	<p>予約票に記載された「予約番号」はシステムが発行するランダム番号とし、他者が類推できない番号とすること。また、同日内に同じ番号が発行されない仕組みであること。</p>

11	<p>終了時間が来る前に退席処理が出来ること。退席処理を行うと、該当の座席は次の利用者に割り当て対象となること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・④（PC端末）は、画面の「退席」ボタンを押すことで、シャットダウン・退席処理が行われること。 ・①~③コーナー（座席予約のみ）及び⑤(会議室予約)は、予約端末にて退席処理出来ること。
12	<p>退席処理を行った場合、利用時間は途中退席した残り時間分は差し引かれて、再度利用可能時間とすること。</p> <p>利用回数は、退席しても1回とカウントする。</p>
13	④コーナーの各PCおよび座席予約端末、管理端末は、同一ネットワーク内で接続できる環境であること。
14	座席予約端末、管理端末は、Microsoft Edgeが稼働する端末環境を前提とする。
15	<p>短納期での納入となるため、上記機能で運用可能な導入実績が多数あるパッケージを採用する。</p> <p>又、クラウド対応可能で図書館側のグローバル固定IPアドレス認証+ID・パスワードで接続認証可能とすること。</p>
予約端末（利用者用）機能	
16	<p>予約端末は座席予約以外に、以下の機能を有すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 利用規約の表示 ② 既に予約した内容の確認・取消し・退席・予約票再印刷 ③ 当日の空席状況（タイムスケジュールで一覧表示できること）
17	<p>待受け画面に、現時点での予約可能な座席数がリアルタイムに一覧表示されること。</p> <p>満席の場合は、満席表示し、何分後に予約可能か表示できること。</p>
18	タッチパネル操作で誰でも簡単に操作できること。又、予約完了したら、予約票を印刷できること。
19	<p>利用者カード番号（バーコード）を入力した後に、利用者の現時点でのコーナー毎の利用回数・時間が確認できること。</p> <p>その後、コーナー選択して【いつから】【何分間】【どの座席を】を使うかを座席予約できること。</p>
20	【いつから】は開始時刻を設定させず、空席があれば現在時刻（今から）から利用開始可能となること。又、満席の場合は、システムが自動で最短利用できる座席・時刻を選択する機能も保有すること。
21	<p>【どの座席を】は利用者が座席選択するのではなく、システムが座席を自動割振りする設定も可能なこと。</p> <p>座席の利用頻度を平準化するために自動割振りする順番を決められること。開始位置を日々ずらす設定も可能なこと。</p> <p>また、自動割振りする場合は、前後・左右の座席に予約されていない席が配席されること。</p> <p>前後・左右の座席に予約されていない席が配席できなくなった時点で初めて、前後・左右に予約がある席が配席されること。</p>
22	<p>【何分間】使うかは最大6パターンの中から選択できること。（例:15分、30分、60分、90分、120分、180分）</p> <p>閉館間際で残り時間がわずかな場合は「閉館まで」の選択が可能であること。</p>
23	予約端末から「座席利用上の注意」画面を表示できること。又、予約ボタンを押すと「座席利用上の注意」が表示され、「承認」ボタンを押さないと予約入力画面に遷移しない設定も可能なこと。
管理端末（職員用）機能	
24	利用者の代行予約ができること。又、イレギュラー対応できるように、注意喚起のポップアップ表示された上で「OK」ボタンを押して複数予約も対応可能となっていること。

25	予約されている時系列のバーをマウスでクリックすることで、利用者カード番号・予約時間を確認でき、利用終了・予約削除・予約票レシートの再発行ができること。
26	管理者・職員・委託業者等の権限ごとにログインID・パスワードを発行することができ、使用出来るメニューを変更できること。
27	PC故障や座席使用が不可の場合など、時間を特定して利用できない時間枠（利用不可設定）を設定することができること。
28	座席の間引きや一定期間利用不可能な座席を設定するため、期間設定・時間設定（終日または任意の時間帯）・コーナー・間引きする複数座席を指定して一括で利用不可設定ができること。開館～閉館まで利用不可設定されている場合は、館内予約端末に表示されている総座席数を減算させること。
29	座席利用の利用統計表が出力できること。期間設定して、それぞれコーナー・座席ごとの利用回数・時間、時間帯別の利用回数・時間をCSV出力できること。年齢別、利用区分別等の図書館システム連携して、データ集計する項目については、別途打合せの上決定とする。
30	管理端末から職員が予約する場合のみ、13カ月先まで予約入力することが可能なこと。 又、予約する項目には、予約日時・利用時間・座席や部屋の他に備考欄があり、団体名や送付事項等を記載できる欄が用意されていること。
31	予約は利用時間・座席もしくは部屋を指定し、1日予約（当日・未来日）及び複数日を指定した一括予約ができること。
PC連動機能	
32	④コーナーは、予約票の「予約番号」を待ち受け画面に入力して初めてPCが利用できる仕組みとすること。 ・予約したPCは時間以外に「予約番号」を入力しても、ロック解除されない仕組みであること。 ・予約した時間のみ使用可能となり、モニタ画面内に残時間がカウントダウン表示されること。 ・終了時間の数分前に終了をアナウンスするメッセージ画面を出力すること。 ・予約した時間が終了すると、強制的にシャットダウンすること。 ・再起動させる際に、ハードディスクを初期状態に戻した上で、待ち受け画面に戻すこと。 ・該当の座席は、次の利用者に割り当て対象となること。
WEB予約機能	
33	WEB予約した利用者は、来館して所定の時間（利用開始時間+15分後等）までに予約端末から「利用確定」を行うことで利用可能とすること。所定の時間を経過しても「利用確定」されない場合は、予約が自動的にキャンセルされ、該当の座席は次の利用者に割り当て対象となること。
34	インターネット経由で図書館ホームページに接続して、WEB予約内容の確認画面・予約取消の機能を有すること。
35	PC用サイト、スマートフォン及びタブレット用サイトの構築にあたって、Edge・Chrome・サファリのみブラウザ環境の試験を行うこと。今後新たに生まれるブラウザ環境への適用費用は含まない。
36	WEB予約で予約可能な座席を指定することが出来る(設定しない席は当日館内予約しか出来ない仕様とする)。又、WEB予約から予約されていない座席は、当日館内から予約可能とする。
37	WEB予約できる期間（例:7日前から予約可能）は、導入前に決定し設定することが可能であること。 WEB予約設定できる期間は、全てのコーナーが同一期間設定とする。
38	管理端末から、職員が予約する場合のみ、1年先まで予約入力することが可能なこと。
会議室	

39	座席だけでなく、会議室の予約も対応可能なシステムであること。 WEB予約・館内予約の画面から会議室内の写真や設備の説明等も閲覧可能とし、会議室を指定して予約可能なこと。 又、管理端末から職員が備考欄に、イベント名や団体名等、自由に追記できること。
40	稼働する間仕切りで仕切られた会議室は、利用状況に合わせて利用者が全体を1室、もしくは分割して全2室と間仕切りのレイアウトに合わせて予約が可能なこと。